

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おり～ぶ太白		
○保護者評価実施期間	令和7年1月15日		～ 令和7年2月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	令和7年1月15日		～ 令和7年2月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動スペースが広いので、様々な活動を提供できる	・広いスペースを有効活用するため、体を動かす活動を多く取り入れている	・現状に満足することなく、様々な活動を取り入れることで、活動の幅を広げていく
2	・送迎時やお迎えの際、保護者の方に時間を掛けて子どもの状況をお伝えしている	・些細なことでも保護者の方にお伝えすることで、安心感を持ってご利用いただけるように心がけている	・ツール（電話やラインなど）を活用することで、子どもの様子について、更に相互理解を深められるようにする
3	・小学生～高校生の受け入れを行っている	・年齢、学校を問わず、活動中や自由時間に交流する場面を設けている ・お互いを助け合うことで、自然と人間関係が構築されている	・小学生～高校生の受け入れを継続することで、年齢や学校に縛られることなく、みんなが交流できる場所にする

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・近隣の児童館や小学校、地域の方と交流する機会が少ない	・町内会の会場として場所を提供しているが、近隣の方を招いた催し物を開催していない	・児童館や小学校でイベントがあった際は積極的に参加すると共に、定期的な催し物の開催を検討する
2	・送迎範囲を限定しているため、送迎範囲外の送迎が難しい	・送迎車の台数と人員が限られているため、遠距離の学校送迎や自宅送迎が困難になっている	・遠距離の送迎は難しいが、学校の数や送迎方向が複数になった場合に備えて、体制の強化を図る
3			